

花きの県別生産出荷概況(10月見通し)

令和4年9月30日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		10月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
						千本 (前年比)	千本 (前年比)					
バラ	群馬県	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	10.2 (96%)	722 (102%)	501 (97%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	生育は順調に進んでおり、主産地である前橋では春に改植した品種の出荷が本格的に始まる。今後は、気温の低下に伴い全体的に品質が向上していく見込み。10月については平年並みの出荷を見込む。
	静岡県	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 (96%)	850 (98%)	650 (98%)	30	30	40	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	現状ピーク期が来ている産地もあるが、数量、階級発生とも10月下旬に向けて改善される見込み。今回の台風により冠水被害や断水・停電による影響を受けたハウスがあるため、微減見込み。
トルコギキョウ	熊本県	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年	夏秋 13.41ha 冬春 未 (105%)	326 (99%)	-	35	30	35	熊本市 菊池 やつしろ くま 等	R4年産の面積は増加。生産者数は前年並み。定植は早いところで7/30より開始。定植のピークは、8月中旬頃。出荷は、10月上旬より開始。生育は、概ね順調。一部地域では、生産経費(暖房代等)削減のため昨年より前倒し出荷となることが想定される。病害虫は、一部コナジラミや斑点病が見られるが、特に被害はない。
	秋田県		セレブ系 ポヤージュ系	6月-12月 8-9月	2.4 (98%)	467 (86%)	303 (137%)	5	15	80	ふるさと こまち	暑さの影響から生育の遅れが散見された。彼岸に向けて栽培しているものの、一部産地では量がまとまらないところもあった。現在は順調に出荷している。
	茨城県	施設	サムライ アバランチェ アマダ等	周年	1 (100%)	107 (100%)	-	40	30	30	古河市 石岡市 茨城町等	・生育は平年並み。 ・大きな影響はないが、改植などにより出荷量が微減している産地が一部あり。 ・うどんこ病の発生が一部見られるが、大きな影響はない。
	福岡県	施設	八重	10-12月 11月		460 (110%)	138 (110%)	20	30	50	糸島 みい 直鞍 田川 他	昨年育苗、定植前後の水害等あり定植ロスが発生したが、今年度は問題なく順調。全体的に気温高により1週間程生育前進傾向。
	静岡県	半促成		セレブリッチW セレブピンク	10月~6月 (4~5月)		40 (80%)	30 (80%)	10	30	60	JA静岡市 JA大井川 JAハイナン JA遠州中央

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	見通し	現状	山形や宮城、青森など高冷地主体の取り引き。SPは特に全体的に下位等級中心の入荷。静岡や愛知など西南暖地の品質は、下旬頃から安定。輸入品の入荷は今月から本格的に増加した(大田)。山形、栃木、群馬等。暖地は下位等級中心で上位は品薄傾向。婚礼、敬老と堅調な販売となった(FAJ)。連休の業務需要での引き合いは強い。高冷地産が減り、暖地産が遅れているため、出荷量は少なめ。後半には量まとまる(世田谷花き)。夏場の高温と日照不足の影響で、各産地上位等級の発生が少ない。下位等級の入荷比率が高い。販売は高温多湿による日持ちの懸念から販売アイテムからまだ敬遠気味である。品薄感のある大輪系・オレンジ系の品種の引き合いはある(東日本板橋)。
		大田花き	西南暖地の商品が伸び始め、上位等級中心の荷姿になってくる。高冷地は出荷量が落ち着き、花にボリュームが出てくる。輸入品は円安の影響を受け、入荷量少ない見込み。特にウガンダ、インドなど安価な商品ほど、入荷は少ない。
		FAJ	山形、栃木、群馬、静岡、愛知等。中旬以降暖地の出荷が安定。大きな需要はないが中値相場で推移。
		世田谷花き	各産地出荷量は安定するが、引き続き上位等級は少ない。業務需要主体の動きになりそう。
		東日本板橋花き	10月上旬までは中下位等級中心の入荷が多い見込み。婚礼等業務中心の引き合い。
アルストロメリア	見通し	現状	愛知・長野中心に、新植の出荷も始まり、中旬に向け全体的に数量増加。彼岸・ブライダル需要と問い合わせ増加したが、色目によって温度差ある取引となった(大田)。長野中心に北海道、山形等。引き続きしっかりした入荷。彼岸需要も堅調な販売が続いた(FAJ)。各産地、例年より増量。業務中心に安定した販売(世田谷花き)。愛知・青森・北海道中心の入荷。昨年より若干多い入荷量(東日本板橋)。
		大田花き	愛知・長野は、白・ピンク・黄色の出荷量は増加、上位等級の割合が増える見込み。山形・青森・北海道は数量横這いから微増となる見込み。
		FAJ	山形、長野中心に愛知等より入荷予定。安定した数量が続き、大きな需要はなく小動きとなる見込み。
		世田谷花き	北海道産減少。長野県産増量。引き合い更に強まる。
		東日本板橋花き	愛知・青森・北海道中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが天候次第で入荷増減あり。
トルコギキョウ	見通し	現状	長野、福島中心に東北、北海道の数量が纏まった。上旬に数量が急激に増加し相場下がるも、中旬に向けて回復。業務、彼岸の需要も重なり高値での取引となった(大田)。秋田、福島、山形、長野等。しっかりした入荷続き昨対比3割増の数量。保合相場で推移した(FAJ)。北海道・長野は出荷前進。北東北は低日照の影響を受けている。中旬以降、婚礼需要増える(世田谷花き)。福島・北海道は前進、山形・青森はやや遅れての開花となっている(東日本板橋)。
		大田花き	長野、福島、北海道は前進開花の傾向にあり、例年より切り上がり早い。上旬は長野、秋田中心の入荷となり、福岡、熊本など暖地出荷も始まる。
		FAJ	秋田、山形、長野等。暖地ものも少しずつ始まり高冷地との重なり具合によっては相場に影響。
		世田谷花き	中旬以降、西南暖地始まるも、北海道産など順次出荷終了していく。
		東日本板橋花き	関東など暖地が一部始まってくるが、前進傾向にあるとのこと。
りんどう	見通し	現状	岩手・秋田共に株枯れ等多く、出荷量は彼岸に向けて増えるが、大きな山はなく彼岸需要前にはやや品薄感あり。ピンクも敬老の日向けに引き合い高まる(大田)。岩手、秋田、山形等より昨年並みの数量 9日から彼岸需要に向けた入荷 平年並みの相場展開(FAJ)。彼岸に向けて、やや遅れながら潤沢。相場やや高いまま安定(世田谷)。
		大田花き	昨年は前進開花の影響により、10月は非常に少ない入荷数量となったが、本年は現時点では順調な生育状況。但し、今後の天候にも左右されるため注意が必要。
		FAJ	岩手中心に秋田、山形等。入荷数量は中旬に向けて増加、下旬以降徐々に減少する見込み。
		世田谷花き	笹・深山リンドウ増量。色目・品種数ともに豊富になる。引き合い落ち着く。
ストック	見通し	現状	最終週に少量出てきたが、出始めのため状態はあまりよくない。需要に関してもまだ動きよくない(大田)。
		大田花き	10日前後から数量増加する。需要はまだ鈍い状況が続く。
		FAJ	山形中心に秋田、福島等より入荷予定。中旬以降入荷始まるが増え方は天候次第となる見込み。